



下関港新港地区国際物流ターミナル整備事業

新たな拠点「長州出島」でアジアとの物流を効率化

現在 now

将来 future

インフラ・地域

平成35年度完成予定



【岬之町地区】

岸壁の背後地が狭隘



【岬之町地区】

栈橋の鉄筋腐食

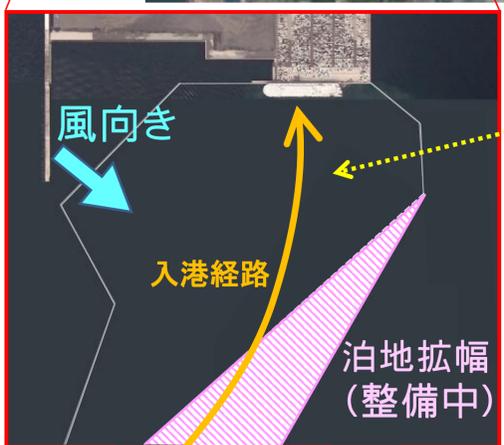


【関門海峡】

関門海峡は船舶が輻輳

新たな国際物流拠点「長州出島」を整備し、コンテナ貨物の増大や船舶の大型化に対応

- ・荷役効率
- ・安全性
- ・輸送効率を向上



自動車運搬船は背が高く、風の影響を受けやすい形

浅瀬での座礁リスクを回避

- 下関港は海峡沿いに発展してきたが、本港・岬之町地区では、岸壁背後地の不足、施設の老朽化、船舶の輻輳に課題
- コンテナ貨物や輸出用中古自動車など、**新たな貨物需要**に対応するため、国際物流拠点「長州出島(沖合人工島)」を整備
- 22haの港湾関連用地に企業誘致**が可能となるとともに、**効率的で安全な輸送**を確保し、下関港の背後企業の**競争力強化**に寄与

